

# 平和への願い



野木町では、平和活動のリーダーを育成することを目的に、平成26年度から小山市と合同で中学生の代表を広島平和記念式典に派遣しています。28年度より結城市も加わり、今年度も2市1町で参加しました。

8月5日(土)～7日(月)の日程で派遣し、6日(日)には広島市で開催された平和記念式典に、野木中学校2年生2名、野木第二中学校2年生2名の計4名が参列しました。中学生の代表として、また、町民の代表として立派にその務めを果たしてきました。

派遣を通じて「平和」について学んだこと、現地で体験したり感じたりしたことなど、中学生4名の感想を紹介します。

平和記念公園では、原爆死没者慰霊碑や原爆の子の像、原爆ドームなど様々な場所を見学しました。特に原爆ドームは、その場所だけでなく当時のまま時が止まっているようで、78年がたった今でも原爆の恐ろしさを訴え続けているようでした。平和記念公園の見学を通して



野木中学校

まつだ あおい  
松田 碧

8月6日のよく晴れた日、私達は広島平和記念式典に参列しました。8時15分、1分間の黙とうは、たくさんの方がいるのにとっても静かで、神聖な雰囲気でした。式典には多くの外国の方が参列していました。世界中の人々が注目しているこの式典の意義を伝え、一人でも多くの人に平和について考えてもらいたいと思います。



野木中学校

おおやま ゆづき  
大山 優月

「誰もが平和だと思える世界になつてほしい」被爆者体験講話の笠岡先生は最後にこう語りました。今の私たちに当たり前にできる



野木第二中学校

よしみ ちはる  
吉見 千陽

僕は平和記念資料館が特に印象に残りました。資料館には被爆された方の遺品や焼けてちぎれてしまった服、原爆の熱によって変形した三輪車、熱で黒く焦げてしまったお弁当などがありました。原子爆弾が落とされて78年がたちました。戦争を経験していない私たちも戦争のことを知り、争いのない平和な世界にしたいと思いません。



野木第二中学校

こばやし たくみ  
小林 巧

て、改めて原爆の恐ろしさや平和の尊さを学ぶことができました。

勉強が被爆当時はできなかったそうです。当たり前のことが当たり前前に行ける環境に感謝すると共に、語り部が減少している今、私たちが戦争の悲惨さを伝え世界恒久平和への一歩を踏み出したいと思えます。

←野木中、野木二中の生徒みんなの平和への思いを託した千羽鶴を「原爆の子の像」へ捧げました。



↑灯籠に平和への思いを書き入れ、元安川に流しました。



↑慰霊碑を前に平和への祈りを捧げました。

問 こども教育課(57) 4182